

子どもたちの 生きる力を育てたい

ユネスコスクール のことをもっと知ろう

本校がユネスコスクールに認定されて2年目となりました。保護者の多くが、この取り組みを「良い教育」と受け止めている一方で、「どんな授業がユネスコ?」「メリットは何?」という疑問をおもちの方もいるようです。そこで広報部では、実際の授業の取材などを通して、少しでもユネスコを理解すると共に「保護者ができることは何だろう?」ということを探ってみました。



ユネスコスクールとは?

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、昭和 28 (1953) 年に創設された

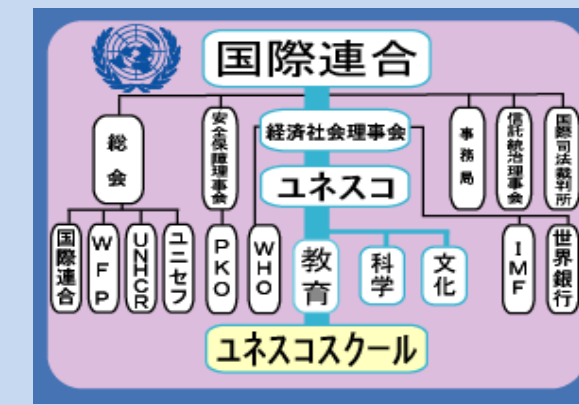
- ① 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ② 人権、民主主義の理解を促進
- ③ 異文化理解 (国際理解教育)
- ④ 環境教育

などのテーマについて質の高い教育を実践する学校です。

●現在の加盟校 (2012 年 7 月現在)

世界: 180 力国 9,000 校以上

日本: 459 校 (小・中学校を中心に、幼稚園から大学まで加盟)



教えて! 校長先生

お答えしましょう!



てしま としお
手島 利夫
校長先生

Q. ユネスコスクールとはどんな学校なのですか?

A. ユネスコスクールは主に「ESD (持続発展教育)」という視点のもとに質の高い教育を行う学校です。本校はこれまでも環境教育、人権教育、地域に根差した俳句教育などに取り組んできました。それを ESD という視点からまとめ、結びつけることで、カリキュラムの方針を明確にできます。本校を世界に通用する学校にしたいという考えから加盟しました。

Q. 加盟すると、どんなメリットがあるのですか?

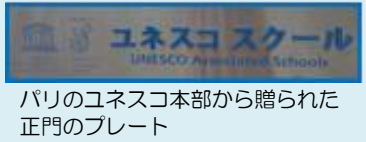
A. ・世界中の加盟国のスクールと国際交流の機会が増えます。
・ESD 関連の教材や情報などのサポートを受けられます。
・八名川が実践してきた教育を明確なカリキュラムにして、取り組み、成果を発信することができます。

Q. 児童はこれで学力が上がるのですか?

A. これからは、受験競争に向けた知識・理解中心の学力だけではなく、「持続可能な社会」を創るための資質や能力が必要です。ESD では、問題解決能力・創造的なコミュニケーション能力、そして健康や体力も含めて、「厳しい時代を生きぬく力」が育ちます。もちろん、この教育は私自身のこだわりだけではありません。ユネスコの教育理念 (ESD の視点) は、新しい学習指導要領にも加えられたものなのです。

Q. 日本の最先端の教育をひっばっているのですか?

A. そうです。この取り組みが、未来を作る子どもたちの大きな力になると信じ、全職員で協力しあって実践しています。



どんな授業が行われているの? 6年生の「総合的な学習の時間」に密着取材!

『江戸・八名川の歴史王になろう』
この授業のねらいと流れ

★問題に気付かせる

地域在住の時代小説家・牧秀彦先生や地域の方のお話、NHKのテレビ番組「プラタモリ」観賞をきっかけに地域の歴史に目を向ける。

★学びに火をつける!

家に帰って保護者に小名木川クイズを出してみたら、不正解続出! 「なんで知らないの?」⇒「もっと自分で調べて伝えたい!」

★テーマを決める ★計画する ★調べる ★まとめる・練り直す

グループごとにテーマを決め、江戸資料館に行くなどして調査。お互いに発表し合い意見交換。内容を整理し伝わりやすい発表の仕方を探る。

★発展させて伝え合う!

5年生や保護者に向かってプレゼンテーション。わかりやすく伝えることができるかな。

先生方は授業とは別に、指導方法などの研究会も行っていたよ。学校全体で熱心に取り組んでいるのね!



ユネスコスクールには4つのテーマがあります (※右上参照)。それに取り組むためには、単に国語や社会などの「一つ一つの教科」を学ぶだけでなく、それぞれの教科の学びをつなぎ、その関連性を重視した「教科横断的」な授業が大切になるそうです。もともと「総合的な学習の時間」は教科横断的な学習ですが、これをユネスコの視点でさらに深めた内容にしていました。

発表内容 江戸の「くらし」「流通」「身分制度」など

子どもたちは自分たちが住む地域の歴史を探ることで、「過去と現在」のつながりを知り、「未来をどうするか」を考えました。また、江戸のくらし方からエコを学び、身分制度から人権の問題にも思いを巡らせていました。

授業を担当した6年生の先生方にお話を伺いました



いなみね ひとし
6-1 稲嶺 史 先生

地域の歴史を自ら調べる活動を通して、地域に対し、より愛着をもつことができました。また、たくさんの意見を出し合って効果的に発表できたことも収穫です。



むらなか ゆか
6-2 村中 裕佳 先生

子どもたちの行動力には驚かされました。歴史を守りながら友達や地域の人々と関わり合い、この町とともに生きていく大切さを実感できたと思います。

八名川まつりにもユネスコが!?

自分たちで考え、まとめて、発表する体験が豊かに! 毎年後期に行われる八名川まつりも昨年からユネスコの考えを活かした内容になりました。
※写真はすべて昨年度のものです

1年生 『日本の遊びと世界の遊び』

グループごとに多彩な遊びを紹介。保護者に世界の遊びについて聞くことからスタート。



3年生 『私たちのまちに残るおまつり』

深川神明宮の祭礼や、さくらまつりの歴史を調べ、自分たちの地域への理解を深めました。



4年生 『バリアフリーを考えよう』

体の不自由な人の生活について学び、バリアフリーを体験するコーナーを作成。



うちの子は今年どんなテーマに取り組むのかな? 楽しみだわ!!



保護者がサポートできることは?

研究会の見学もできます!

ユネスコスクールになって、「世界の中のわが町・八名川」について調べる機会が増えています。子どもたちが協同で学び合い、地域のことを知ろうとする授業を見て、保護者同士も互いに信頼し合っていくこと、地域の一員として誇りを持ち、学校や地域の活動をしていくことが大切なサポートだと実感。そして、「ユネスコ」や「世界」は遠くにあるのではなく、世界の中に八名川があって、子どもたち一人ひとりと世界はつながっているという視点をもつことが大切だと思いました。

★ 今後行われる予定の授業研究会など

- 10月31日(水) 3年授業研究会
- 11月12日(月) 1年授業研究会
- 12月18日(火) 2年授業研究会
- 1月22日(火) 全校 八名川まつり
- 2月27日(水) 全学年 実践報告会

ユネスコスクールのこと、ちょっと分かってきた気がする! 授業のどこにユネスコの視点があるのか、興味が出てきたわ! 次の授業研究会のテーマ、子どもと話し合ってみようかな?

